

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（9月）

留学先：Clemson University

氏名： 黒川 晶平

【はじめに】

クレムソン大学に来てから約2か月が経ちました。今月（10月）のはじめにはハリケーンがサウスカロライナ州を襲い、各地域に洪水などの甚大な被害を及ぼしましたが、幸運にも大学周辺の被害は小さく、安心して生活を送ることができています。

さて、今回は僕が今学期に取っている授業内容を中心に報告していこうと思います。

【Fall Semester 2015】

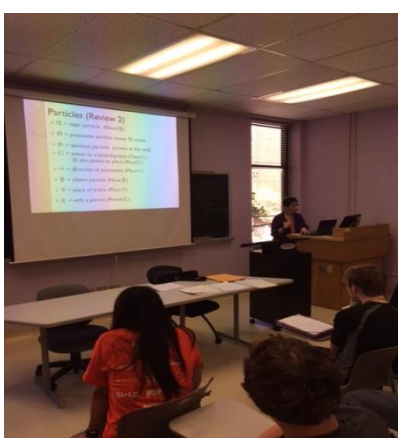
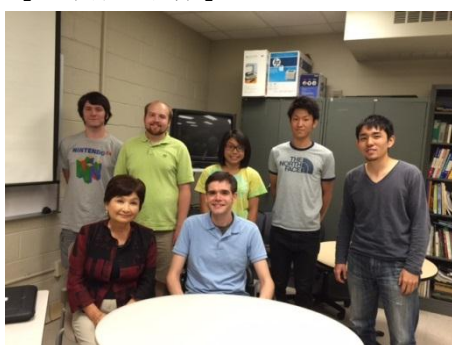
Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
				ED1050(教育) 9:05-9:55
ENG1030(英作文) 12:20-13:10		ENG1030 12:20-13:10	DANC1300(タップ ダンス)12:30-13:45	ENG1030 12:20-13:10
JPN101(初級日本語)13:25-14:15		JPN101 13:25-14:15		JPN101 13:25-14:15
JPN406(日本文学)14:30-15:45	LANG2540(映画) 15:30-16:20	JPN406 14:30-15:45	LANG2540 15:30-16:20	
JPN project 17:00-18:00		LANG2541 Lab17:00-19:30		

上が今学期の授業スケジュールですが、ご覧のとおり、週に同じ授業が複数あったり授業時間が異なっていたりする点は日本の大学の授業との大きな違いと言えるでしょう。授業スタイルにも日本と違いが見られます。特に、どの授業においても活発なディスカッションが中心にあり、日本と比べて非常にアクティブな雰囲気を感じます。こちらの学生にとっては授業中常に考え続け、即座に自分の考えを発言することが普通だと思っているようです。自分も発言や質問をしようと毎回試みていますが、会話を聞き取って内容も理解するのに時間がかかってしまい、なかなか加わることができません。この2か月で少しずつ参加できるようになりましたが、それでも日々悪戦苦闘の毎日です。毎回の課題も多く、

どの授業でも膨大な量のアカデミックな文章を読んでくることが課せられます。なので、夜図書館へ行ったり、朝の空き時間を利用したりしてなんとか予習をこなしています。

しかしどの授業も内容は非常に充実しています。単純な面白さで言うと、タップダンスの授業は気晴らしで取っていますが、毎回新しいステップを覚えるのが楽しくてたまりません。世界映画の授業は、毎週1本映画を鑑賞し、様々な国の映画産業の特色や背景などについて専門的に分析しています。教育の授業では米国や州内の学校問題や傾向などを学んでいます。日本との相違点を考えたり、新たな視点を討論の中で見つけたりできるのでとても勉強になっています。授業の一環として今後州内の学校現場も見学する予定です。

【日本語の授業】



クレムソン大学に勤務されている岸本俊子教授の勧めもあり、特別に日本語の授業を取ることになりました。2種類の授業と1つのプロジェクトの参加で合計5単位取得予定です。アメリカに来てなぜ日本語かと思われそうですが、将来英語教師を目指すことを念頭に置き、一つは第二言語の教授法を学ぶということ、もう一つは自国の文化に対する理解を深めるという目的をもって授業に臨んでいます。

週3回行われる初級の日本語のクラスでは、いわゆるALTのような立ち位置で参加しています。先生のアシスタントとして会話演習や机間指導をしたり、気付いた点は適宜メモを取ったりと、まるで教育実習生のように学んでいます。日本文学のクラスでは、生徒の一人として作品を読み、毎回日本語でのディスカッションを行っています。内容は日米の価値観の違いや日本特有の表現・文化が毎回議論されます。翻訳作業や英語での感想文も課されるので楽ではありませんが、どちらの授業も自分の今後のキャリアにとって非常に需要になると信じて日々励んでいます。

また月曜日には、日本語学習者用の漢字学習アプリの開発プロジェクトにも協力しています。漢字を使ったゲームを作るプログラミングは手伝うことができませんが、教科書を参照して漢字をデータとして収集するチームに加わっています。

次回はクレムソン大学の日本語クラブの活動等を紹介したいと思います。それではまた。